

十
七
日

昭和五年度臺灣總督府特別會計第二豫備金支出要求書

款	項	目	金額	備考	
歲出臨時那	霧務社事件費	內國旅費	五四〇、七七七		
		諸品費	三九六、五〇〇		
霧務社事件費	霧務社事件費	雜款及雜費	一〇、五二五		
		通信運搬費	二九、三六四		
		銃砲彈藥費	五九、三〇〇		
		交通路橋費	一、二七一		
		著人操縱費	五、〇〇〇		

計	憲兵隊	三、四〇七		
	兵站部	二、九〇〇		
	救護班	三、二〇〇		
	飛行隊	三、三〇〇		
	山砲兵隊	一、七〇〇		
	同通信班	二、九〇〇		
	同機關銃隊	一、五〇〇		
	同第三大隊	一、八〇〇		大隊本部トニケ中隊 平均三円
	歩二第一大隊	二、五〇〇		大隊本部トニケ中隊 平均三円
	歩一通信班	二、八〇〇		
	歩兵砲隊	一、一五〇		
	台歩一第三大隊	三、六〇〇		大隊本部トニケ中隊 平均三円
	守備隊司令部	三、三〇〇		大隊本部トニケ中隊 平均三円

理由

機密費

一五、〇〇〇、〇〇

臺中州下ニ於テ昭和五年十月二十七日
 社蕃騒擾事件突發シタルヲ以テ之カ
 鎮壓等、爲メ前記金額ノ支出ヲ要スル
 毛右ハ豫算外ノ費途ナルニ依リ臺灣
 總督府特別會計第ニ豫備金ヨリ支
 出スルノ必要アルニ依ル

(並美濃野紙復寫用十三行全)

霧社事件費所要内譯書

科	目	金額	備考
霧社事件費	霧社事件費	五四〇、七七〇	
	内國旅費	二二八、五三八	別表第一并表
	諸品費	三九、六二五	別表第二并表
	雜款及雜費	一〇五、二五〇	
	人夫賃	五三、三〇〇	別表第三并表
	賞與及慰勞金	五一、九五〇	別表第四并表
	雜費	一、〇〇〇	
	通信運搬費	二八、三六四	別表第五并表
	銃砲彈藥費	五八、三〇〇	別表第六并表
	交通路橋費	一三、七一〇	別表第七并表

著人操縦費
機密費

五、〇〇〇
一、〇〇〇
〇
〇

別表第八并表

抄 卷 七

(並美濃紙復寫用十三行全)

第一并表

搜索隊旅費調書

一金貳拾貳萬八千五百參拾八圓也 總 額

内 譯

- 一 大三七、八圓 搜索隊員日額旅費 附表第一通
- 二 四三、四一、〇圓 搜索隊員往復旅費 第二通
- 三 二、一四一、〇圓 其他職員旅費 第三通

並美濃紙復寫用十三行全

附表第一

捜索隊員日給旅費調査書

計	發 手	巡 査	巡 査 部 長	發 部 補	發 部	發 視	区 分 人 員
1424	165	128	119	26	24	2	日
	1	1	1	1	1	1	等
	1	2	2	2	3	4	額
	0.8	0.0	2.5	8.8	2.0	9.5	(金)
2223	178	331	267	74	76	9	所 要 額
23	0	0	7.5	8.8	8.0	0	額 (延 日 数)
	5.6	5.6	5.6	5.6	5.6	5.6	小
163776	927	3266	1424	413	430	54	計
8	0	0	0	28	80	0	

兼美造紙復寫用十三行全葉

附表第三

其他職員(捜索隊員外)旅費調書

一金貳萬壹千四百拾圓也

計	二、四一〇	内譯		算出基礎
		金額	所屬別	
		三、〇〇〇	電報班	電報士一、一人一、五〇〇月工半三、一人一、八〇〇
		六、〇〇〇	救護班	醫官、醫官補、發警醫二、一人一、二〇〇月 警部、警部補二、一人一、六〇〇月看護人 六、一人一、四〇〇月
		一、五一一〇	其他	殉職者遺族帰郷旅費發部二、一人 一、二〇〇月警部補三、一人一、〇〇〇月巡查員五、一人 一、六〇〇月警部補二、一人一、四〇〇月其他 七、〇〇〇月

附表第二

捜索隊(應援分)往復旅費調書

区	分	警視廳				警部補				巡查部長				巡查員				計
		員	額	員	額	員	額	員	額	員	額	員	額	員	額			
台中州	埔里方面	四	八、〇〇〇	八	一六、一六〇	二	四、〇〇〇	二	四、〇〇〇	二	四、〇〇〇	二	四、〇〇〇	二	四、〇〇〇	二	四、〇〇〇	三六、三六〇
東勢	白狗方面	一	一、〇〇〇	一	一、〇〇〇	一	一、〇〇〇	一	一、〇〇〇	一	一、〇〇〇	一	一、〇〇〇	一	一、〇〇〇	一	一、〇〇〇	一、〇〇〇
台北州	板橋方面	一	一、〇〇〇	一	一、〇〇〇	一	一、〇〇〇	一	一、〇〇〇	一	一、〇〇〇	一	一、〇〇〇	一	一、〇〇〇	一	一、〇〇〇	一、〇〇〇
花蓮境	能高方面	二	二、〇〇〇	二	二、〇〇〇	二	二、〇〇〇	二	二、〇〇〇	二	二、〇〇〇	二	二、〇〇〇	二	二、〇〇〇	二	二、〇〇〇	二、〇〇〇
台南州	埔里方面	一	一、〇〇〇	一	一、〇〇〇	一	一、〇〇〇	一	一、〇〇〇	一	一、〇〇〇	一	一、〇〇〇	一	一、〇〇〇	一	一、〇〇〇	一、〇〇〇
花蓮境	能高方面	一	一、〇〇〇	一	一、〇〇〇	一	一、〇〇〇	一	一、〇〇〇	一	一、〇〇〇	一	一、〇〇〇	一	一、〇〇〇	一	一、〇〇〇	一、〇〇〇
新竹州	埔里方面	一	一、〇〇〇	一	一、〇〇〇	一	一、〇〇〇	一	一、〇〇〇	一	一、〇〇〇	一	一、〇〇〇	一	一、〇〇〇	一	一、〇〇〇	一、〇〇〇
台東廳	能高方面	一	一、〇〇〇	一	一、〇〇〇	一	一、〇〇〇	一	一、〇〇〇	一	一、〇〇〇	一	一、〇〇〇	一	一、〇〇〇	一	一、〇〇〇	一、〇〇〇
計		二	二、〇〇〇	二	二、〇〇〇	二	二、〇〇〇	二	二、〇〇〇	二	二、〇〇〇	二	二、〇〇〇	二	二、〇〇〇	二	二、〇〇〇	二、〇〇〇

衛生材料	式	一	四七四〇
土工具			三六三〇
炊事器具類	人分	五〇	一〇三七〇
巡査隊手銃等類	枚	五〇〇	二〇〇〇〇
蕃地用外食			三〇〇〇
消耗品			三二四〇〇
計			三八六二〇

務省

第三表

官役人夫費諸書

一金五萬貳千參百圓也

内訳

區分	概部	延人員	單價	小計
埔里方面	一四	一六六〇	二〇〇	三九二〇〇
能高方面	三	四二〇〇	一〇〇	四二〇〇〇
三十二方面	三	四二〇〇	三〇〇	一二六〇〇
計	二〇	二八〇〇〇		五五八〇〇

外二

五〇〇圓八延人夫五〇〇人一人一圓

註

華美通譯統復寫用十三行全覽

一 区分方面ノ部隊編成ハ現在ノ状態ヲ基調トシテ豫定シタルモノトス
 二 埔里ピヤナシ方面ハ本島人能高方面ハ花蓮境平地蕃人ノ夫ヲ使用スルモノト豫定ス

第四附表

賞與及慰勞金調書

一 金五萬九千九百五拾圓也

内譯

一 殉職者

計	警手	巡查	警部補	警部	区分人員
九五	四〇	五〇	三	二	員
	六〇	一〇〇	七〇〇	一〇〇〇	概算
一、二、五〇〇	二、四〇〇	六、〇〇〇	二、一〇〇	二、〇〇〇	計

摘要

十月三十一日迄、殉難者ニテ判明シタル区分警部補一人、警部一人、警手約三人、巡查三人、警手約三人

二 搜索隊員其他関係職員

所屬廳	臺中	臺北	新竹	臺南	臺東	練習所	警務局	醫院	其他	計	一人當	預算類	合計
俸任官	二	一				一	四	四		一三	六〇	七八	
判任官	四九	三五	六	一六	一	五	一八	一五		一三八	四〇	五五二〇	
巡查	四三七	二〇九	一八八	一四九	三〇	二〇八				一三六七	二〇四	二七三四〇	
發手	九五	六〇	一〇							一六五	一〇四	一六五〇	
嘱託							三			三	二〇四	六〇	
雇員	二五	二〇					三	二		一〇	三〇四	三〇三〇	
備員	三〇	二九					三八	一〇		一〇七	一〇四	一〇七〇	
計	六三九	三五〇	二〇四	一五三	三一	二二	九九	四九		一八四	二〇四	三二四〇	

(並美濃野縣費用十三行分)

第五拜表

通信運搬費調書

一金貳萬九千參百六拾四圓也

内譯

區分	金額	算出基礎
通信費	一三〇〇〇	電話料一日五〇圓一回二月五六日 間電話料四四〇〇月其他二〇〇〇月
運搬費	一七三六四	
食糧品	一五三一四	
陳器具類	一四七八	
土工具類	一六九	
炊事具類	二三三	
雜費	一七〇	
計	二九三六四	

(並美濃野紙用十三行全)

第六別表

銃砲彈藥費調査書

一金五萬九千九百圓也

品目	形質	單位	數量	單價	小計	摘要
三八式騎銃	銃劍及彈藥盒付	挺	五五	六〇〇	三三〇〇〇	一部陸軍ヨリ借込還リ要ス
三八式實包		發	八〇〇〇〇	七〇	五六〇〇〇〇	
計					五九三〇〇〇	

註

一、三八式騎銃ハ需務社分室其他包圍地帯ノ發察機関ニ配備中ノモノヲ掠奪セリレタル分ノ補充ナリ

第七辨表

交通路橋費調査

一金壹萬貳千七百拾圓也

計	木橋	鉄線橋	区分延長	金額	種類	摘要
	三六	四八四	單間	一三三〇	〇〇	
	一〇	二五〇	價	三六〇	〇〇	
	一二七〇	一三三〇	金額	〇〇	〇〇	

内澤

橋名	受持所	所在地	延長	幅	高	摘要
岩戸鉄線橋	駐在所	東方五間	一七間	六尺	二尺	
梯木	ノ	東方十町三間	二七	六	五四	
スーク	ボヤレン駐在所	西方一里十二町	二〇	三	三六〇	
タロワニ	駐在所	所在地	九六	三	四五	

(並美濃算紙複寫用十三行全)

計	トニバラ本橋	無名木橋	境木橋	ク茶ニ	眉漢茶一本橋	計	マヘボ	タウワア	能高	尾上	トニバラ茶ニ	トニバラ茶ニ
	駐在所	ノ	霧社駐在所	ノ	眉漢駐在所		マヘボ駐在所	タウワア駐在所	能高駐在所	尾上駐在所	ノ	トニバラ茶ニ駐在所
	東方十四所	東方十五所	南方十八所	東方十六所 南方十所	東方十四所		西方四所	西南方三所	西方一所	西方十七所	東方九所 南方三所	東方四所
	三六	六五	一一	五二	四九		六〇	六四	四四	二六	四一	二八
	六	五	八	六	六		三	三	三	三	三	三
	三八	三〇	一一	四〇	四五		五〇	一三五	七〇	六〇	一〇八	五四

(並美濃野紙復寫用十三行全)

第八號表

蕃人操縦費

一金五萬壹千圓也

内 野紙

四〇、〇〇〇圓 以蕃人搜索隊特別賞與一〇〇〇人一人四〇圓
 六〇、〇〇〇圓 以蕃人給食延二〇、〇〇〇人一人食一〇錢
 五〇、〇〇〇圓 以蕃人惠與品一〇、〇〇〇人一人五圓

註

一、蕃人搜索隊ハ反抗蕃人ニアラサル蕃人ノ仕丁ヲ操縦シ行動ノ嚮導及反抗蕃人ノ搜索等ニ使用シタル者ニ対スル賞與(死傷アリタル場合ノ諸手当含む)其他ニ充マルモノトス

ニ蕃人給食ハ使役蕃人其他中要ト認
ムル蕃人ニ対シテ食糧ヲ官給スルモノト
ス
ニ蕃人恩與品ハ蕃情偵察ニ使役シタル
蕃人其他行動上ニ功勞アル蕃人ニ
物品ヲ恩與スルモノトス

昭和五年四月廿八日

第五十七回帝國議會ニ於テ衆議院解散トナリタル為其
後昭和四年度豫備金外ニ於テ豫算超過及豫算外支
出其他並昭和五年度第二豫備金其他ヲ以テ豫算
外支出ヲ為シタル事項金額左ノ如シ

昭和四年度

一般會計

國庫剩餘金支出

内

豫算超過支出

諸拂戻及補填金

警察費連帶支辨金

恩給

計

30

豫算外支出

六、八〇一、九一二

一、七七三、九七一

一、六八〇、一四四

一〇、二五六、〇二七